学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003011	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井手 弘人/Ide Hiroto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井手 弘人/Ide Hiroto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井手 弘人/Ide Hiroto		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由:	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		•
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirotoi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部 6 階 6 1 5 室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2316		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日1限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competend Diversity 主体性 / Autonomy	ce 倫理観 / Ethics 多様性の	理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dotivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 c. 大会にではではできまれる。comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	自主的な学修、資料収集、十分なか 加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、 ジナリティー40点)	思考と理解に対する取り組み方・デ 、進捗状況・計画等の報告10点、文	ィスカッションへの積極的参
contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

	733
	予習:高等学校までの探究的な学びをふりかえりつつ、テーマに対し主体的に調査をしておく。 (2 h)
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(2n) 復習:実施した調査について、協働して課題点を見出し、次の活動に向けた計画の準備をする。
	(2h)
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	<u> </u>
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	・高等学校までに経験した探究学習との「つながり」を意識しながら、高校と大学との学びの違いを定義していきましょう。 ・「長大生のためのラーニングティップス」は、高校と大学との学びの違いを知るにはとくに大事なツールですから、参考にしていきましょう。
	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	,
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)
第4回	倫理とコンプライアンスについて (対面)
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
Art	最終レポートの修正
第14回	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003012	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美/Utino Narumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美/Utino Narumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美/Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科日 数春ゼミナ		選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	- : ; · : ; · : - : - : : : : : : : : : : : : : :	maaxii/im / course ory to	AE / Commut
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	予部間が日内とのこと 教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp(を	 @に変えて送信)	
担当教員研究室/Office	教育実践研究棟1階 104号室	·	
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours		、メールで連絡をしてください。so	udan nagasaki-u.ac.jp(
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン 力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけてい る。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育 てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する 。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 drivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	計細は授業計画計細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する	マに対し自主的に調査をする。(2 問題点を精査する。(2h)	,

キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習	
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	3回を超える欠席は失格となります。注意してください。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	内野成美/スクールカウンセラーとしての実務経験を踏まえての教育臨床心理学的探求活動/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて(対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003013	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
	- 初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	STACE STATE COMME		
course syllabus	榎 景子 / Enoki Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	榎 景子/Enoki Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	榎 景子/Enoki Keiko		
	 		`B+O4\
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	enoki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部棟2階221室		
担当教員TEL/Tel	質問・連絡等ある場合は、上記メ		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールに学籍番号・氏名・用件を	記載の上、アポイントメントを取る	こと。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン 力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
	,		,
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	- 汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
knowledge and skills acquired mainly through	, ,	協働性/Cooperativeness 考 或社会への関心/Interest in inter	*
the course (pick 1 to 3)	-		·
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習:あらかじめ決められたテー 復習:発表した調査内容に対する	マに対し自主的に調査をする。(2 問題点を精査する。(2h)	h)
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて(対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5	
BB+##BBB ()	/First Semester		1	
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29	W A #L (40 (Ab) (50 24) (0))		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003014	科目番号/Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	初年次セミナー(教育)/First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	及川 大地/Oikawa Daichi			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	及川 大地/Oikawa Daichi	及川 大地/Oikawa Daichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	及川 大地/Oikawa Daichi			
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ		選択科目 / Elective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	,		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	daichioi@nagasaki-u.ac.jp			
世 担 担 当 数 員 研究室 / Office	教育学部本館323室			
世当教員TEL/Tel	095-819-2375			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜3限			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。			
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	·		·	
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力 / Generic Competend Diversity 主体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability	
knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
the course (pick i to 5)	L A.授業内容の理解度を確認した	リ自分で考えさせたりする活動 shr	>/ Activities to check the	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計細は投業計画計細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する			
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習	

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	パソコンで検索やスライド作成をします。準備ができ次第、持参してください。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて (対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5	
BB+##BBB (O l. ma ('	/First Semester			
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29	以(大华)		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003015	科目番号/Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兼原 啓二/Kanehara Keiji			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	兼原 啓二/Kanehara Keiji	兼原 啓二/Kanehara Keiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	兼原 啓二/Kanehara Keiji			
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科日 数春ゼミナ		選択科目 / Flective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	・, -, -, -, - 学部問い合わせのこと	1177 201 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	IXE / Communication	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k_kanehara@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	美技棟1F 119教室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2349			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後			
January Property Control House				
授業の概要及び位置づけ/Course overview	成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。			
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	·		·	
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力 / Generic Competend Diversity 主体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability	
knowledge and skills acquired mainly through	to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
the course (pick 1 to 3)	A 博業山家の理解度を確認した	い白ハブギョナサたいする活動 あい	Activities to shock the	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 for Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 for Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above for the above			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計細は技業計画計細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する			
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習	

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて(対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5	
	/First Semester	and parties, received	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		1	
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003016	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar			
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加納 暁子/Kanou Akiko			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加納 暁子/Kanou Akiko	加納 曉子/Kanou Akiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加納 暁子/Kanou Akiko			
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ		選択科目 / Elective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと	,		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-akiko@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	音楽棟3階(304-1)			
担当教員TEL/Tel	095-819-2346			
担当教員オフィスアワー/Office hours	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	てください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。			
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)			
ー 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	·		·	
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 王体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national/local society	
the course (pick 1 to 3)	-		•	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される stor>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計細は投業計画計細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する			
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習	

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて(対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003017	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001	•	
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 英一郎/Eiichiro Kamada		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 英一郎/Eiichiro Kamada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 英一郎/Eiichiro Kamada		
科目分類 / Course Category	┃ 数春ゼミナール科目、数春ゼミナ		選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	1, 2, 0, 4 学部問い合わせのこと	m942///EX / COUTSC Style	/X E / COMMING
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	教育子部1年主 e-kamadaアットマークnagasaki-u	ac in	
担当教員研究室/Office	美術技術教室115室	.ac. jp	
担当教員TEL/Tel	095-819-2362		
担当教員「EL/Tel 担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日5限		
担当教員オフィスアワー/OTTICE Hours		学的な田老女は 課題発目能力 棲	起心焦力, 文帝结解。 文帝楼
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン 力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけてい る。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育 てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する 。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	·		,
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
knowledge and skills acquired mainly through	l '	協働性/Cooperativeness 考 或社会への関心/Interest in inter	*
the course (pick 1 to 3)			•
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する		·
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明/対面	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業/対 面	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講/対面	
第4回	倫理とコンプライアンスについて/対面	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション/対面	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション/対面	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始/対面	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始/対面	
第9回	中間発表 質疑応答/対面	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)/対面	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出/対面	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション/対面	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出/対面	
第14回	最終レポートの修正/対面	
第15回	最終レポートの修正/対面	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
用講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003018	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
	- 初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the			
course syllabus	田端 真弓/Tabata Mayumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田端 真弓/Tabata Mayumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等)			
/Instructor(s)	田端 真弓/Tabata Mayumi		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mtabata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部本館108研究室		
	0958192355		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜 3 限		
		学的な思考方法、課題発見能力、情	 報収集力、文章読解・文章構
授業の概要及び位置づけ/Course overview	成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを 通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習 から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも 効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン 力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけてい る。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育 てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する 。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
	·		,
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
knowledge and skills acquired mainly through	l '	協働性/Cooperativeness 考 就社会への関心/Interest in inter	*
the course (pick 1 to 3)			·
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習:あらかじめ決められたテー 復習:発表した調査内容に対する	マに対し自主的に調査をする。(2 問題点を精査する。(2h)	h)
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	田端真弓 / 中学校・高等学校保健体育の授業実践
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)
第4回	倫理とコンプライアンスについて (対面)
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)
第9回	中間発表 質疑応答(対面)
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)
第14回	最終レポートの修正(対面)
第15回	最終レポートの修正(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003019	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001	•	
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	張 子康 / Zhang Zikang,田口 由香 / Taguchi Yuka		
course syllabus 授業担当教員名(科目責任者)	張 子康 / Zhang Zi kang		
/ Instructor in charge of the course 授業担当教員名 (オムニバス科目等)	正 フ店 / Thong 7: kong		
/Instructor(s)	張 子康 / Zhang Zikang		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zikang.z@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	張教員研究室(611室)		
—————————————————————————————————————			
担当教員オフィスアワー/Office hours	 随時 (事前にメールでアポイント	メントをとること)	
3	·	<u></u>	 報収集力、文章読解・文章構
	成力、学習・実験のデザイン力、	レポートや口頭でのプレゼンテーシ	ョン力、ディスカッションを
授業の概要及び位置づけ/Course overview		ることを具体的なねらいとしており	
		的学習へのオリエンテーション機能	
		て、学生と教員および学生相互のコ て、今後の大学での学習活動を円滑	
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン 力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけてい る。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育 てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する 。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲			,
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
knowledge and skills acquired mainly through	1 '	滅歯はアののperativeness s 或社会への関心/Interest in inter	*
the course (pick 1 to 3)			•
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点プレゼンテーション20点レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習:あらかじめ決められたテー 復習:発表した調査内容に対する	マに対し自主的に調査をする。(2 問題点を精査する。(2h)	h)
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)
第2回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)
第3回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)
第4回	倫理とコンプライアンスについて (対面)
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)
第6回	「図書館を利用したアクティブラーニング」 の受講(対面)
第7回	「図書館を利用したアクティブラーニング」 の受講(対面)
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)
第9回	中間発表 質疑応答(対面)
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)
第14回	最終レポートの修正(対面)
第15回	最終レポートの修正(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5	
BB+##BBB (O Land ('	/First Semester			
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29	Y/A-WE / 60 //ch \ /50 24 \ / 0 1 · .		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003020	科目番号/Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar			
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉良 史明/Kira Fumiaki			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉良 史明/Kira Fumiaki			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉良 史明/Kira Fumiaki			
科目分類 / Course Category			選択科目/Elective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	,		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kira@nagasaki-u.ac.jp			
世当教員TEL/Tel	095 - 819 - 2299			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日5限、火曜日3限			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。			
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	·		·	
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 王体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability	
the course (pick 1 to 3)	-		•	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計論は投業計画計論を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習:あらかじめ決められたテー 復習:発表した調査内容に対する	マに対し自主的に調査をする。(2 問題点を精査する。(2h)	h)	
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習	

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて(対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003021	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the			
course syllabus	星野 由雅/Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅/Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅/Hoshino Yoshimasa		
科目分類 / Course Category		 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room		mission of the second	77 H 7 SOMITION
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部本館4階415室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日以外の昼休み(12:10	- 1 2 · 4 0)	
担当教員オフィスアラー/OTTICE Hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン 力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけてい る。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育 てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する 。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
	·		,
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
knowledge and skills acquired mainly through	l '	励働性/Cooperativeness 与 対社会への関心/Interest in inter	*
the course (pick 1 to 3)			·
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される F.教員からの講義のみで構成される from teachers the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives c.技能修得のために実践する活動 c. 大記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 c. 大記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 c. 大記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習:あらかじめ決められたテー 復習:発表した調査内容に対する	マに対し自主的に調査をする。(2 問題点を精査する。(2h)	h)
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第3回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて(対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5	
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29			
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	20240581003022	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	隅田 祥光/Yoshimitsu Suda	隅田 祥光/Yoshimitsu Suda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	隅田 祥光/Yoshimitsu Suda			
科目分類 / Course Category	 数差ガミナー ・科日 数差ガミナ		選切利日 / Flootive Courses	
対象年次 / Intended year	教養セミナール科目, 教養セミナ 1, 2, 3, 4	ール科目,大学院科目[構造],自由 講義形態 / Course style	選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar	
対象中次 / Intended year 教室 / Class room	1, 2, 3, 4 学部問い合わせのこと	mptx///窓 / OUUTSC STYTE	/共日 / OGIIITIIAT	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	学部向い合わせのこと 教育学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	教育子部1年主 geosuda@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	413			
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること			
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日7時から8時30分			
正 A X A X A X A X A X A X A X A X A X A			 報収集力、文章読解・文章構	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを 通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習 から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも 効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。			
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン 力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけてい る。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育 てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する 。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)			
ー 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	·		·	
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 王体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society	
the course (pick 1 to 3)	-		•	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 vtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btilize that comprehensively utilizes th			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計細は授業計画計細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する			
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習	

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
備考/Remarks		
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)	
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)	
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)	
第4回	倫理とコンプライアンスについて(対面)	
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)	
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)	
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)	
第9回	中間発表 質疑応答(対面)	
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)	
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)	
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)	
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)	
第14回	最終レポートの修正(対面)	
第15回	最終レポートの修正(対面)	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003023	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	杉本 佳弘/Sugimoto Yoshihiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	杉本 佳弘/Sugimoto Yoshihiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	杉本 佳弘/Sugimoto Yoshihiro		
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科日 数春ゼミナ		選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	- : ; · : ; · : - : - : :	HTTP:/// COULDE ON THE	A DOMINICI
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-sugimoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部3階310号室		
担当教員TEL/Tel	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
		 す。	
担当教員オフィスアワー/Office hours	直接質問したいときはメールで日		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competend Diversity 主体性 / Autonomy	ce 倫理観 / Ethics 多様性の	理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching r the above	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	自主的な学修、資料収集、十分な加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点 ジナリティー40点) 詳細は授業計画詳細を参照	れる <pre></pre>	イスカッションへの積極的参 章構成力・文章表現力・オリ
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する		

キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)
第4回	倫理とコンプライアンスについて (対面)
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)
第9回	中間発表 質疑応答(対面)
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)
第14回	最終レポートの修正(対面)
第15回	最終レポートの修正(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間/Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003024	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 泰/Nakagawa Tooru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 泰/Nakagawa Tooru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 泰/Nakagawa Tooru		
科目分類 / Course Category	┃ 数春ゼミナール科目、教春ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由:	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	urs 32/1/ /Est / Couldon City ! C	DCI / Committee
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	▲ 美術技術教室棟209-1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	知来が期待される。これらを通じて、今後の人子での学育活動を口頂に進める。 知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	汎用的能力 / Generic Competend Diversity 主体性 / Autonomy	ce 倫理観 / Ethics 多様性の	理解 / Understanding えをやり取りする力 / Ability
the course (pick 1 to 3) 学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認した degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	り自分で考えさせたりする活動 contents to the lesson or to th 関わる活動 br>/ Activities invo 	>/ Activities to check the ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate ectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	加20点 プレゼンテーション20点	、進捗状況・計画等の報告10点、文	
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習:あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。(2h) 復習:発表した調査内容に対する問題点を精査する。(2h)
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
備考/Remarks	
	欠かさず出席すること(5/3,4,5に長崎県美術館でWSを実施。詳細については後日連絡)
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	Y
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	中川 泰 / 小学校・中学校・高校の教諭としての実務経験 / 教育現場に基づく教育内容
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 (対面)
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞 り込み作業、倫理とコンプライアンスについて (対面)
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講 (対面)
第4回	テーマの設定、研究の打合せ・グループディスカッション、報告とディスカッション (対面)
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体の ディスカッション (対面)
第6回	美術館を利用したアクティブラーニング 1 (対面)
第7回	美術館を利用したアクティブラーニング 2 (対面)
第8回	美術館を利用したアクティブラーニング 3 (対面)
第9回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体の ディスカッション、発表資料・レポートの作成 (対面)
第10回	中間発表 質疑応答 (対面)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体の ディスカッション、発表資料・レポートの作成(中間発表による修正) (対面)
第12回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体の ディスカッション、発表資料・レポート素案の提出 (対面)
第13回	プレゼンテーション準備と質疑応答、グループディスカッション (対面)
第14回	プレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出 (対面)

第15回	最終レポートの修正、提出、講評
	(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	20240581003025	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
	- 初年次セミナー(教育) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the			
course syllabus	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kosuket@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部218		
担当教員TEL/Tel	095-819-2404		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜午前		
	知的活動への動機づけを高め、科	学的な思考方法、課題発見能力、情	報収集力、文章読解・文章構
授業の概要及び位置づけ/Course overview	通じて適切な自己表現能力を育て から、大学における主体的・能動	レポートや口頭でのプレゼンテーシ ることを具体的なねらいとしており 的学習へのオリエンテーション機能 て、学生と教員および学生相互のコ	、高校までの教師主導型学習 を果たすことを目標とする。
		て、今後の大学での学習活動を円滑	
授業到達目標/Course goals	科学的な思考方法、課題発見能力を育てる。(専門職業人や研究者る。) レポートと口頭によるプレゼンてる。(主体性をもって他者と協働学生と教員及び学生相互のコミ	。(自ら学び、考え、主張し、行動す と力、情報収集力、文章読解・文章相 首としての基盤的知識・技能を習得し ノテーションとディスカッションを追 動できる。) ュニケーションを図り、ものの見方 こつけ、職場や地域の一員として適ち	構成力、学習・実験のデザイン 」、高い倫理観を身につけてい 通じた適切な自己表現能力を育 、考え方の多様性を涵養する
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	·		,
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability
knowledge and skills acquired mainly through	l '	滅歯はアののperativeness s 域社会への関心/Interest in inter	*
the course (pick 1 to 3)			•
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とvarious perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching the above れる br>/ It consists only of I	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate ectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点(個人レポート10点 ジナリティー40点)	思考と理解に対する取り組み方・デ 、進捗状況・計画等の報告10点、文	
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	復習:発表した調査内容に対する		·
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決	型学習、自己表現・コミュニケーシ	ョン能力、主体的能動学習

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Υ
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	高橋甲介 / 自治体や社会福祉法人の児童発達支援事業の心理指導員や巡回相談員として発達につまづきのある子どもの指導やその保護者に対する相談を行った。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明(対面)
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 (対面)
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講(対面)
第4回	倫理とコンプライアンスについて (対面)
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション(対面)
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション(対面)
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始(対面)
第9回	中間発表 質疑応答(対面)
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)(対面)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出(対面)
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答、グループディスカッション(対面)
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出(対面)
第14回	最終レポートの修正(対面)
第15回	最終レポートの修正(対面)